

- 2面 社会を明るくする運動
- 3面 子育て世帯生活支援特別給付金
- 4面 保存版 ワクチンの接種予約
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●198,135(-162) 世帯数●83,960(+809)
 2021年6月1日推計 ()は前年6月1日比
 発行・伊丹市広報課



本紙7月1日号は6月22日時点の情報です。最新情報は市ホームページなどでご確認ください。また、ワクチン関連情報は本紙4面を参照してください。

広報伊丹

〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 ☎072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報課) ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>

未来へつなぐまちづくりの実現へ

藤原市長 所信表明

4月に就任した藤原保幸市長は、令和3年第3回市議会定例会で、今後4年間の市政運営について、所信を表明し、「未来へつなぐまちづくりの実現」に向け、一般会計6億9577万7千円、公営企業会計6249万7千円、合計で7億5827万4千円の令和3年度6月補正予算案を計上しました。市政運営の所信(要旨)は次の通り。(本紙8面に令和3年度の主要事業。問い合わせは市政策室☎784・8007へ)。

市政運営の決意

市長就任以来、一貫して「安全・安心のまちづくり」を市政運営の1丁目1番地とし、「まちづくりは人づくりから」の信念のもと、地域の特性に合わせて多様な行政課題に取り組み、健全で安定した行財政の基盤づくりに注力してきました。

昨年3月から本市にも広がりをみせた新型コロナウイルス感染症は、これまで経験したことのない深刻な事態をもたらしています。国、県と連携し、感染症対策を行ってまいりましたが、未だ収束を見通せません。

感染症収束に期待されているワクチンの接種では、国が目標とする7月末までに、希望される全ての高齢者へのワクチン接



私は、「デジタル改革」と「グリーン成長戦略」が日本社会を持続可能な社会へと転換させ、次なる成長の原動力になり得ると考えています。

本市では、デジタル戦略室を中核とした自治体デジタル・トランスフォーメーションを進める全庁横断型組織を整備し、行政手続きのオンライン化などデジタル戦略の検討を進めます。また、今後、国が示す地球温暖化対策計画に沿って、第4次伊丹市地球温暖化対策推進実行計画を策定し、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを推進します。

第6次伊丹市総合計画では、「一人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」を将来像とし、今後8年間のまちづくりの指針を定めています。感染症もたらしたライフスタイルの変化なども見極めながら、時代に即した公共サービスへ各施策をブラッシュアップし、「選ばれるまち」を目指します。

種が完了するよう、新たに中心市街地に集団接種会場を設け、市内4カ所体制に強化します。私たちの社会は、感染症の感染拡大や地球温暖化による気候変動・異常気象などの困難に直面しています。一地方自治体としても、世界規模の問題と決して無関係ではられません。少子高齢化が加速する中、迫る課題を乗り越え、これまでの暮らしやにぎわいを取り戻し、全ての市民が安心して生き生きと暮らすことができるよう、市政運営に全身全霊を捧げます。

「選ばれるまち」を目指して

新型コロナウイルス感染症の拡大は、改めて日本社会のデジタル化の遅れを顕在化させ、新しい生活様式を支えるデジタル技術の重要性を再認識させられました。

国は、デジタル政策の司令塔となる「デジタル庁」を本年9月に始動させ、自治体システムの標準化や住民サービスの向上を進めるとともに、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、経済と環境の好循環につなげるための「グリーン成長戦略」へと舵を切りました。

まん延防止等重点措置に移行

緊急事態宣言が解除され、7月11日まで、まん延防止等重点措置の対象区域に指定されました。不要不急の外出・移動の自粛などをお願いします。

市危機管理室☎784-8166

安全・安心

子どもから高齢者まで、「誰もが安全・安心を感じながら暮らすことのできるまち」を目指します。

防災・災害拠点として市民の暮らしを守る市役所新庁舎や統合新病院の整備、迅速な情報収集・避難支援を行う「LINE防災アプリ」の運用など地域防災力の強化に取り組めます。また、「安全・安心見守りネットワーク」の充実や地域の見守り活動などハード・ソフトの両面からの地域防犯に取り組めます。

千僧の天気予報です。

05月21日 13時	くもり	降水量 0mm/h	風速 5m/s	気温 21°C
05月21日 14時	小雨	降水量 0.5mm/h	風速 3m/s	気温 21°C

災害情報登録 避難支援(実証中) 気象・防災情報

災害情報(地図) 防災情報サイト ユーザ設定

育ち・学び・共生社会

未来を担う子どもたちへの投資として、教育・保育・子育て支援と保育環境の充実を図ります。

増加する保育需要などに対応するため、民間保育施設の開設などを支援します。また、放課後児童クラブでは、長期休業中の昼食の提供に関して検討を進めます。さらに、デジタル教科書の実証研究など、子どもたちが必要な資質や能力を身に付けられるよう、教育環境の整備を進めます。



健康・医療・福祉

市立伊丹病院と公立学校共済組合近畿中央病院を統合する新病院は、高度急性期医療の提供が可能な地域医療の中核病院として、2025年の開院を目指します。

近畿中央病院跡地への民間医療機関の誘致に向け、公立学校共済組合と協議します。また、高齢者の日常生活を支え、社会参加を促進させる市バス特別乗車証を継続します。



これから4年間の重点施策

市民力・にぎわい・活力

イベントの開催や子どもの見守り活動など、市民による主体的なまちづくりを推進します。

オンライン会議やホームページ、SNSを用いた情報発信など、地域の実情に応じて地域自治組織の運営にデジタル技術を活用することを支援します。



環境・都市基盤

国が示す計画に沿って、市の温室効果ガス排出量の削減目標を定め、取り組みを推進します。

自然環境への負荷低減を図る建物として「ZEB Ready」の認証を取得した市役所新庁舎を整備します。また、再生可能エネルギー電力の調達や公用車の電気自動車への計画的な更新に取り組めます。さらに、戸建て住宅などへの太陽光パネルの設置を促進します。



参画と協働・行政経営

参画と協働によるまちづくりを基本とした市政運営を行います。

行政手続きのオンライン化や情報システムの標準化など、デジタル戦略の検討を進めます。また、市役所新庁舎では、スマートフォンやタブレットを活用した「スマート窓口」などの検討を進め、感染症対策にも配慮した多機能で誰もが利用しやすく、質の高い行政サービスの提供を目指します。

